

マテリアリティ → マテリアリティの見直し

マテリアリティの見直しプロセス

当社は、社是・基本理念・グループビジョンの精神に基づき、事業活動を通じてステークホルダー（お客様・株主様・お取引先様・従業員・地域社会など）の皆様との信頼関係の構築に努め、環境・社会環境問題をはじめとするサステナビリティをめぐる課題解決に積極的に取り組んでいます。

環境・社会課題と当社グループの事業活動の関連性を明確にするなかで、「企業と社会の持続的成長」及び「持続可能な社会」の実現に資するマテリアリティを特定しています。2018年に初めて特定した後、中期経営計画策定のタイミングで、JFRグループ重要リスク*や経営環境を取り巻く社会の変化などを踏まえ、見直すこととしています。

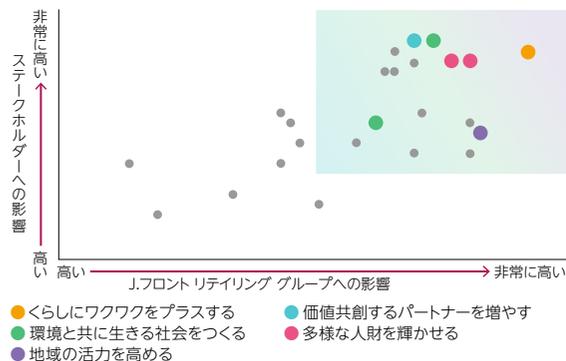
*中期的に当社のグループ経営において極めて重要度が高いリスク  P.55 JFRグループ重要リスク一覧

本中期経営計画策定時には、2018年からどのようにサステナビリティに取り組んできたか、その位置づけを明確にしたうえで、「2030年に目指す姿」からバックキャストする形で見直しを行い、経営会議・取締役会での論議を経て、5つのマテリアリティを特定しました。

当社を取り巻く経営環境変化

消費	<ul style="list-style-type: none"> 主要購買層の世代交代、グローバル化の進展（インバウンド需要など） 心を充足させる「共感・応援・信頼の繋がり」への欲求の高まり 生産・消費のサイクルから、「循環」意識への更なる高まり
市場	<ul style="list-style-type: none"> 国内人口減少、所得格差の進行 都市機能の更新や集約・街づくりが進行 地域経済の担い手の減少、地域独自の伝統や文化への関心の強まり
社会	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動など環境問題が深刻化、地政学リスクの顕在化 人や地域とのつながりが希薄化、デジタル上でのコミュニケーションが台頭 労働力不足の深刻化、仕事選びでも自己実現・社会貢献などをより重要視

マテリアリティマップ



マテリアリティの変遷

2018-2020	2021-2023	2024-2026
サステナビリティ経営の土台づくり	サステナビリティと戦略の一体化への挑戦 =CSVの実現に向けた種蒔き	サステナビリティと事業戦略の融合 =CSVの実現
	お客様健康・安全・安心な暮らしの実現	暮らしにワクワクをプラスする
低炭素社会への貢献	脱炭素社会の実現 サーキュラー・エコノミーの推進	環境と共に生きる社会をつくる
地域社会との共生	地域社会との共生	地域の活力を高める
サプライチェーン全体のマネジメント	サプライチェーン全体のマネジメント	価値共創するパートナーを増やす
ダイバーシティの推進	ダイバーシティ&インクルージョンの推進	多様な人財を輝かせる
ワーク・ライフ・バランスの実現	ワーク・ライフ・インテグレーションの実現	

5項目特定

- ステークホルダーへのアンケート (4,250名)
- 経営者インタビュー
- JFRグループ重要リスク
- マテリアリティマップ作成
- 経営会議、取締役会で論議

2項目追加、3項目更新

- 環境課題を取り巻く外部環境の変化
- 新型コロナウイルス感染症の影響による人びとの意識や社会の変化
- JFRグループ重要リスク
- 社会変化を踏まえて取り組みの高度化を図る視点で見直し
- ステークホルダーとのコミュニケーション
- 経営会議、取締役会で論議

5つのテーマに再整理

- 2030年将来像実現に向けた再整理（感動共創・地域共栄・環境共生）
- JFRグループ重要リスク
- サステナビリティと事業戦略の融合に向けた見直し
- 従業員のアクション促進に向けた表現への見直し
- ステークホルダーとのコミュニケーション
- 経営会議、取締役会で論議